

# 2025年3月期 決算説明会資料



株式会社オーブドア  
(証券コード：3926)

1. ハイライト
2. レジャー旅行市場の業界動向
3. 2025年3月期 業績概要
4. 2025年3月期の取り組み
5. 2026年3月期 業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

1. ハイライト
2. レジャー旅行市場の業界動向
3. 2025年3月期 業績概要
4. 2025年3月期の取り組み
5. 2026年3月期 業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

## ■ レジャー旅行市場の業界動向

- ・ インバウンドや業務渡航の旅行市場については順調に推移しているものの、日本人のレジャー旅行市場は国内・海外ともに円安等による旅行費用の高止まりが続いており、一部添乗員付きプランなどには伸びがみられるが、レジャー旅行市場の回復ペースは鈍化傾向が継続している
- ・ 旅行費用高騰の要因の一つである為替は引き続き不安定であり、今後の市場動向の予測は難しい \* 5ページ参照

## ■ 2025年3月期

- ・ 売上高 **2,405百万円** (前期比 ▲6.1%、2020年3月期比 ▲51.3%)
- ・ 営業利益 **▲102百万円** (前期実績 ▲181百万円、2020年3月期実績 1,538百万円)
- ・ 旅行費用の高騰により日本人のレジャー旅行需要は停滞が続いており、売上高は減収で着地
- ・ ターゲット市場拡大を見据えた開発投資は継続しつつも、市場状況を見ながらプロモーションコストを適切にコントロールしたことにより赤字幅は縮小

## ■ 2026年3月期 業績予想

- ・ 日本人のレジャー旅行市場は現在、円安等のマクロ要因によるブレ幅が大きく、精度の高い予測が難しいことに加えて、状況によってマズプロモーション施策も流動的となるため、現時点では2026年3月期の業績予想を「未定」とするが、精度の高い予測が可能になった時点で開示をする

## ■ 今後の成長施策等

トラベルコに関しては2025年オリコン顧客満足度®ランキング「航空券比較サイト」「ホテル比較サイト」において2年連続で総合第1位を獲得するなど高い競争優位性を維持しているが、旅行市場の停滞が続いているため他分野も含めたターゲット市場の拡大を加速させる

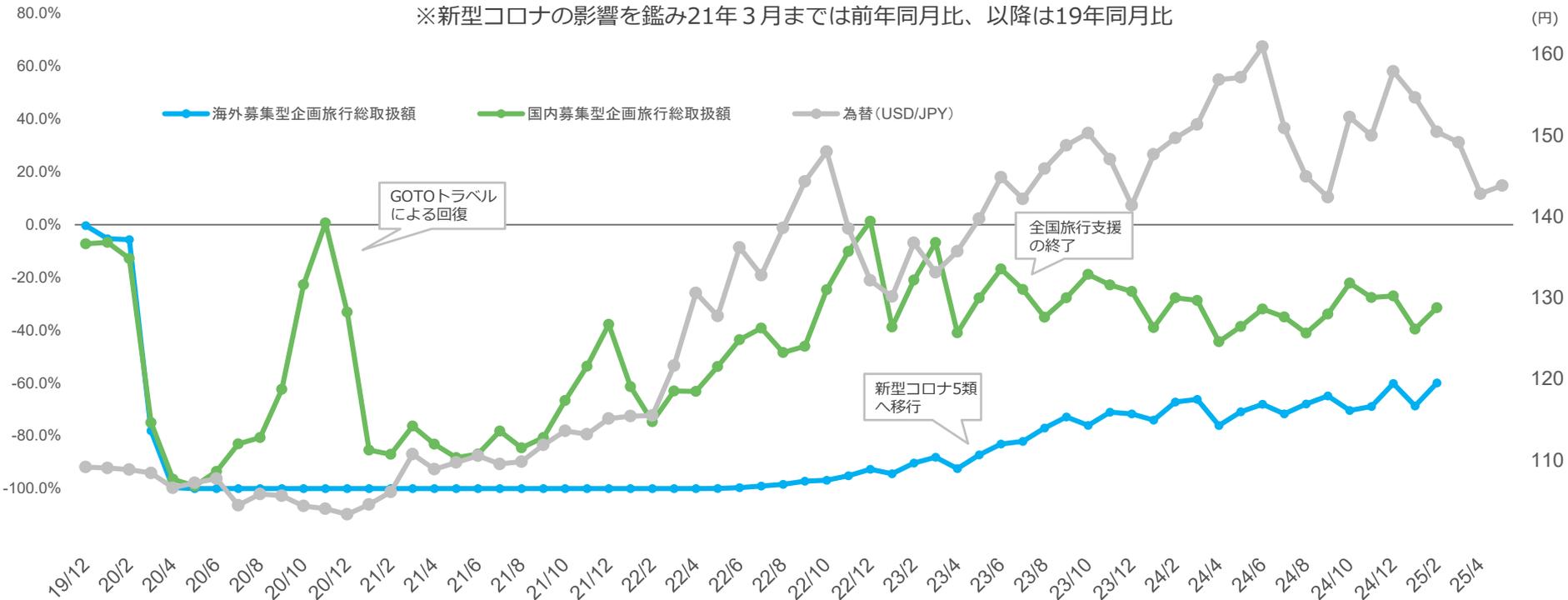
- ・ 新規メニュー：トラベルコにおいてクルーズ等の新メニューのリリースを予定
- ・ AI事業：トラベルコにおけるAI検索の導入と企業向けAIサービスの提供を開始予定
- ・ 業務渡航：グループ会社ホテルスキップによる、業務渡航システムの旅行会社への導入を加速
- ・ システム提供：既にリリース済の旅行会社向けフライト・ホテルオンライン予約システムの開発拡充と導入拡大
- ・ 工芸関連事業：人間国宝を含む工芸作家の作品を中心に販売している日本最大級の「GALLERY JAPAN」に加え、日常に使える工芸品情報を発信してきた「KOGEI JAPAN」において越境を含むECマーケットプレイス事業を開始予定

1. ハイライト
2. レジャー旅行市場の業界動向
3. 2025年3月期 業績概要
4. 2025年3月期の取り組み
5. 2026年3月期 業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

- レジャー旅行市場の需要と連動率の高い「募集型企画旅行」の取扱額を表示
- インバウンドや業務渡航の旅行市場については順調に推移しているものの、日本人のレジャー旅行市場は国内・海外ともに円安等による旅行費用の高止まりが続いており、一部添乗員付きプランなどには伸びがみられるが、レジャー旅行市場の回復ペースは鈍化傾向が継続している
- 旅行費用高騰の要因の一つである為替は引き続き不安定であり、今後の市場動向の予測は難しい

## 主要旅行業者 旅行取扱状況（募集型企画旅行）のコロナ前比推移

※新型コロナウイルスの影響を鑑み21年3月までは前年同月比、以降は19年同月比



出典：観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」、日本銀行「時系列統計データ検索サイト」をもとに当社作成  
 ※2025年5月の為替（USD/JPY）については2025年5月7日のものを使用

1. ハイライト
2. レジャー旅行市場の業界動向
- 3. 2025年3月期 業績概要**
4. 2025年3月期の取り組み
5. 2026年3月期 業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

# 2025年3月期 業績概要 / 累計期間

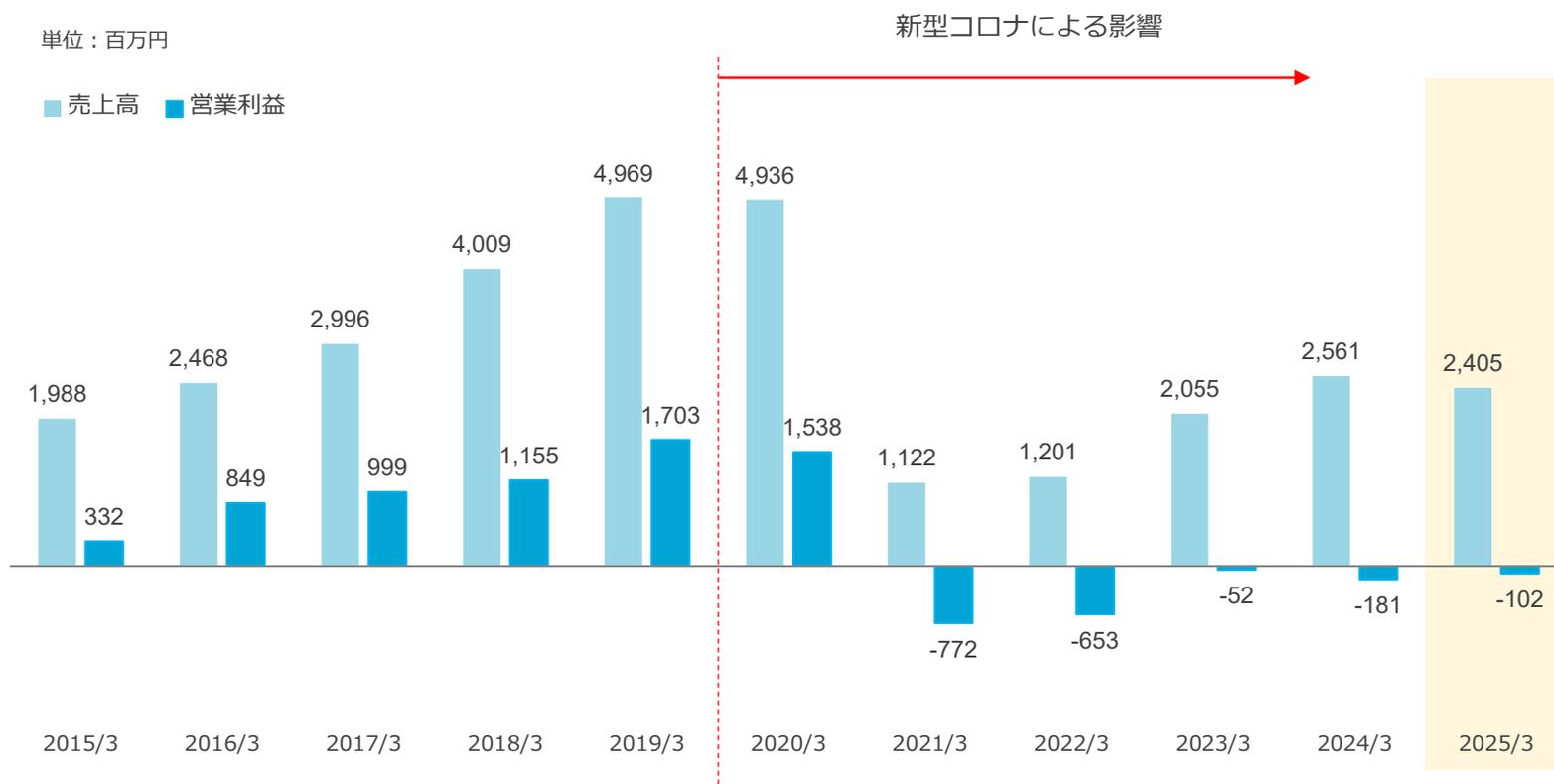
- 旅行費用の高騰により日本人のレジャー旅行需要は停滞が続いており、売上高は減収で着地
- ターゲット市場拡大を見据えた開発投資は継続しつつも、市場状況を見ながらプロモーションコストを適切にコントロールしたことにより赤字幅は縮小

単位：百万円

	2024/3 実績 (前期)	2025/3		2020/3 実績	2020/3比 (コロナ前比)	
		実績 (当期)	増減額			前期比
売上高	2,561	2,405	-155	-6.1%	4,936	-51.3%
売上原価	886	969	+82	+9.4%	651	+48.7%
売上総利益	1,674	1,435	-238	-14.3%	4,285	-66.5%
販売費及び一般管理費	1,856	1,538	-318	-17.1%	2,746	-44.0%
営業利益	-181	-102	+79	-	1,538	-
経常利益	-164	-101	+63	-	1,540	-
当期純利益	-170	-120	+49	-	925	-
営業利益率	-	-	-	-	31.2%	-

# 2025年3月期 業績概要 / 業績推移

- 円安等による旅行費用高騰とそれに伴うレジャー旅行需要の停滞が響き、売上高はマイナスで推移



# 2025年3月期 業績概要 / 第4四半期

- 旅行費用の高騰により日本人のレジャー旅行需要は停滞が続いており、売上高は減収で着地
- ターゲット市場拡大を見据えた開発投資は継続しつつも、市場状況を見ながらプロモーションコストを適切にコントロールしたことにより赤字幅は縮小

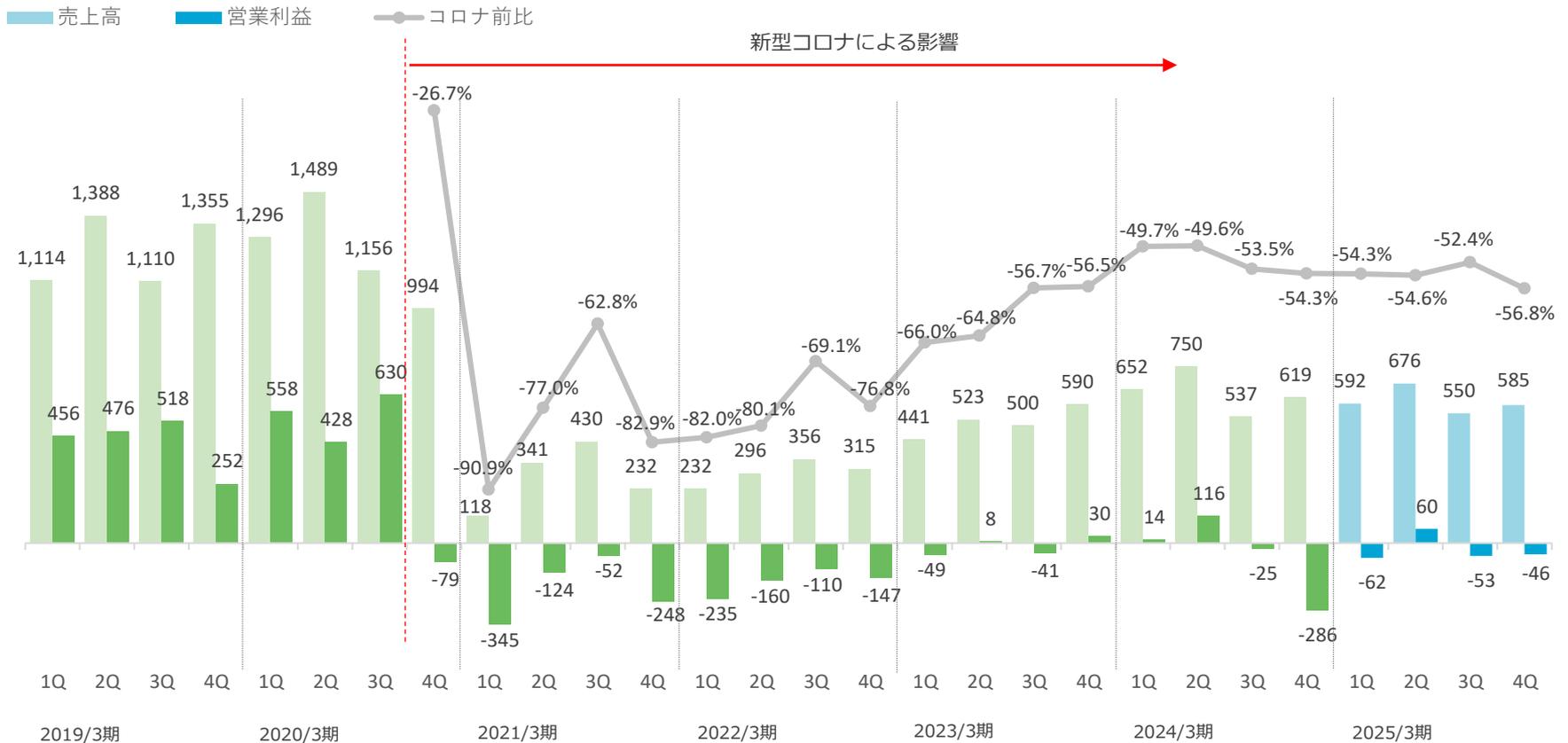
単位：百万円

	2024/3 4Q実績 (前期)	2025/3 4Q実績 (当期)	2024/3 4Q比		2019/3 4Q実績	2019/3 4Q比 (コロナ前比)
			増減額			
売上高	619	585	-34	-5.5%	1,355	-56.8%
売上原価	223	252	+29	+13.1%	165	+53.1%
売上総利益	396	332	-63	-16.0%	1,190	-72.0%
販売費及び一般管理費	683	379	-303	-44.4%	937	-59.5%
営業利益	-286	-46	+239	-	252	-
経常利益	-275	-47	+228	-	254	-
当期純利益	-216	-51	+164	-	158	-
営業利益率	-	-	-	-	18.7%	-

# 2025年3月期 業績概要 / 四半期業績推移

- 円安等による旅行費用高騰とそれに伴うレジャー旅行需要の停滞が響き、売上高は横ばいで推移

単位：百万円



1. ハイライト
2. レジャー旅行市場の業界動向
3. 2025年3月期 業績概要
4. 2025年3月期の取り組み
5. 2026年3月期 業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

## 2025年3月期は131件の開発案件をリリース、翌期も同程度以上のリリースを予定

### 2025年3月期のリリース一例

#### 新サービス

- ・旅行会社向けオンライン予約システムサービス開始



#### 新規連携

- ・(海外航空券) ly.com
- ・(travelko.com) tripbtoz 他多数



#### 新機能

- ・(海外航空券 他) インボイス対応の可否表示
- ・(海外ホテル) OTA会員向け割引料金表示 他多数



## 2025年 オリコン顧客満足度®ランキング「航空券比較サイト」「ホテル比較サイト」において 2年連続で総合第1位を獲得

「航空券比較サイト」「ホテル比較サイト」での最高評価獲得は、昨年につき2年連続。さらに、「サイト・アプリの使いやすさ」「検索のしやすさ」「検索結果の充実さ」「比較のしやすさ」を評価した項目別ランキングでは、ホテルが昨年と同じく全項目で第1位を獲得。また、「国内」「海外」「アプリ」の全部門においても、航空券・ホテルともに昨年に続いて第1位の評価を獲得。



2025年 オリコン顧客満足度®調査 航空券比較サイト/ホテル比較サイト 第1位

### ■ 本調査詳細

2025年 オリコン顧客満足度®調査

航空券比較サイト/ホテル比較サイトランキング

<https://life.oricon.co.jp/rank-bargain-airline-website/>

<https://life.oricon.co.jp/rank-bargain-hotels-website/>

### ■ オリコン顧客満足度®ランキングとは

オリコングループは、2006年に実際のサービス利用者のみを対象とした顧客満足度（CS）調査事業を開始。さまざまな業界・サービスのCSデータをランキング形式で提供。オリコンの調査は、特定の企業や個人からの委託ではなく、公正な第三者の視点のもと、オリコンが独自に企画・実施。

<https://cs.oricon.co.jp/>

1. ハイライト
2. レジャー旅行市場の業界動向
3. 2025年3月期 業績概要
4. 2025年3月期の取り組み
5. 2026年3月期 業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

## 【業績予想】

日本人のレジャー旅行市場は現在、円安等のマクロ要因によるブレ幅が大きく、精度の高い予測が難しいことに加えて、状況によってマズプロモーション施策も流動的となるため、現時点では2026年3月期の業績予想を「未定」とするが、精度の高い予測が可能になった時点で開示をする

## 【今後の成長施策等】

トラベルコに関しては2025年オリコン顧客満足度®ランキング「航空券比較サイト」「ホテル比較サイト」において2年連続で総合第1位を獲得するなど高い競争優位性を維持しているが、旅行市場の停滞が続いているため他分野も含めたターゲット市場の拡大を加速させる

### ・トラベルコ新メニュー

トラベルコにおいてクルーズ等の新メニューのリリースを予定

### ・AI事業

トラベルコにおけるAI検索の導入と企業向けAIサービスの提供を開始予定

### ・業務渡航

グループ会社ホテルスキップによる、業務渡航システムの旅行会社への導入を加速

### ・旅行会社向けオンライン予約システム

既にリリース済の旅行会社向けフライト・ホテルオンライン予約システムの開発拡充と導入拡大

### ・伝統的工芸品の越境を含めたECマーケットプレイス

人間国宝を含む工芸作家の作品を中心に販売している日本最大級の「GALLERY JAPAN」に加え、日常に使える工芸品情報を発信してきた「KOGEI JAPAN」において越境を含むECマーケットプレイス事業を開始予定

## 【トラベルコ新メニュー】

- ・旅行比較サイト「トラベルコ」においてクルーズ等の新メニューのリリースを予定（年度内予定）
- ・コロナ禍を経て需要回復が進むクルーズ市場に対し、その成長機会の獲得に注力
- ・その他需要に応じて比較サービスのメニュー拡大（民泊・アウトドア・日帰りレジャーなど）



日本船 プレミアム

ダイヤモンド号

秋の日本クルーズ4日間

2026/9/1(月)～9/4(木) 3泊

横浜～広島～横浜

合計(税込)

**199,000円～1,862,000円**

▼ 客船概要を見る

海側ツイン

199,000円～

海側バルコニー

199,000円～

ジュニアスイート

199,000円～

海側ツイン

90㎡ / ツイン / バスタブ

シャワー付トイレ / テレビ / Wi-Fi

客室特典

トラベルA

早期割引あり / 専属スタッフ乗船

合計(税込) **199,000円** [商品詳細](#) [問合せ](#)

トラベルB

早期割引あり

合計(税込) **199,000円** [商品詳細](#) [問合せ](#)

トラベルC

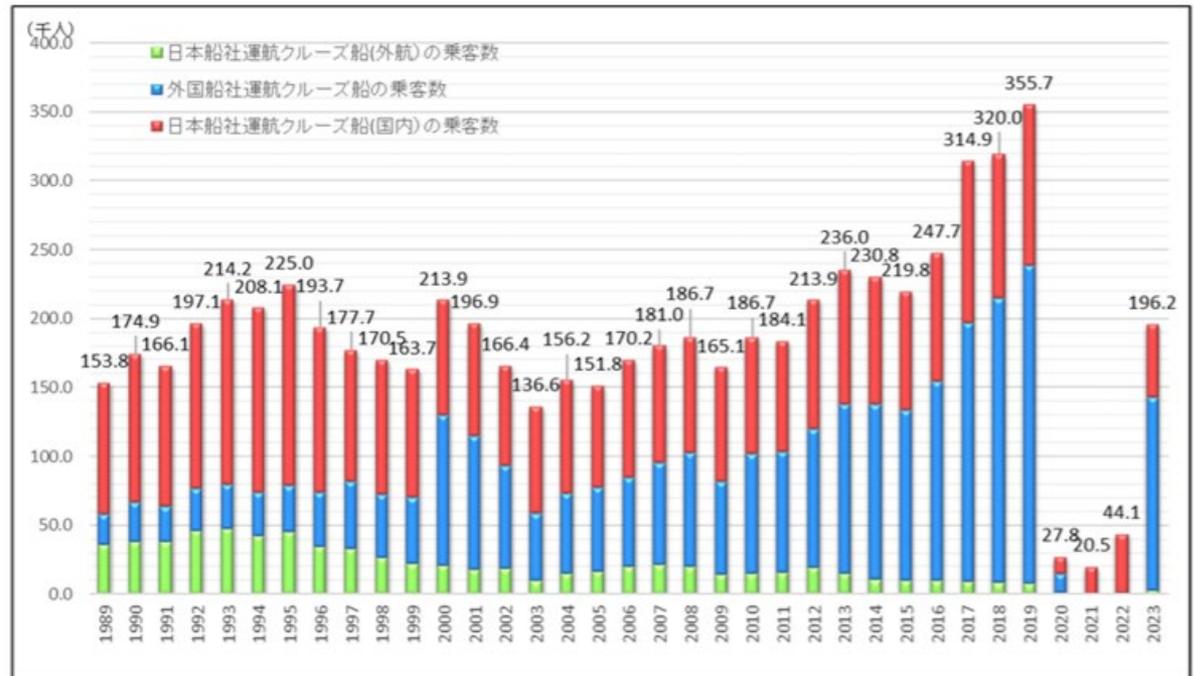
早期割引あり / 専属スタッフ乗船

合計(税込) **199,000円** [商品詳細](#) [問合せ](#)

↑ 閉じる

※イメージ

## ●外航・国内クルーズを利用する日本人乗客数の推移表



出典：国土交通省「2024年の我が国のクルーズ等の動向」

## 【AI事業】

- ・ いままでの検索に加えLLMを利用した自然言語での商品検索システムの構築（年度内予定）
- ・ AI分野の開発を加速し、自社で構築したAI検索、AI FAQ、その他AIサービスのノウハウを他社向けにも提供

(AI検索のイメージ)

夏休みにハワイに旅行したくて、航空券は安く抑えて、ちょっと良いホテルに泊まりたいですが、良いプランはありますか？

回答

ハワイへの夏休み旅行いいですね！  
航空券を安く抑えたいなら、LCCを利用することで安く抑えることができます。  
これでホテルにもう少し予算を回せますね。  
ホテルは★4をピックアップしました。  
旅程保証もついて安心なパッケージツアーも参考にしてください。

さらに質問をする



航空券 総額：113,375円

往路 ZIPAIR ジップエア

8/5(火)	07時間35分(直行)	8/5(火)
19:10	→	07:45
NRT	エコノミー	HNL

復路 ZIPAIR ジップエア

8/10(日)	08時間20分(直行)	8/11(月)
09:45	→	13:05
HNL	エコノミー	NRT

もっと見る

ホテル



カライワイキキビーチ、LXRホテル & リゾート

合計：49,267円



ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ワイキキ・ビーチ・リゾート

合計：33,076円

もっと見る

パッケージツアー 合計：99,400円～

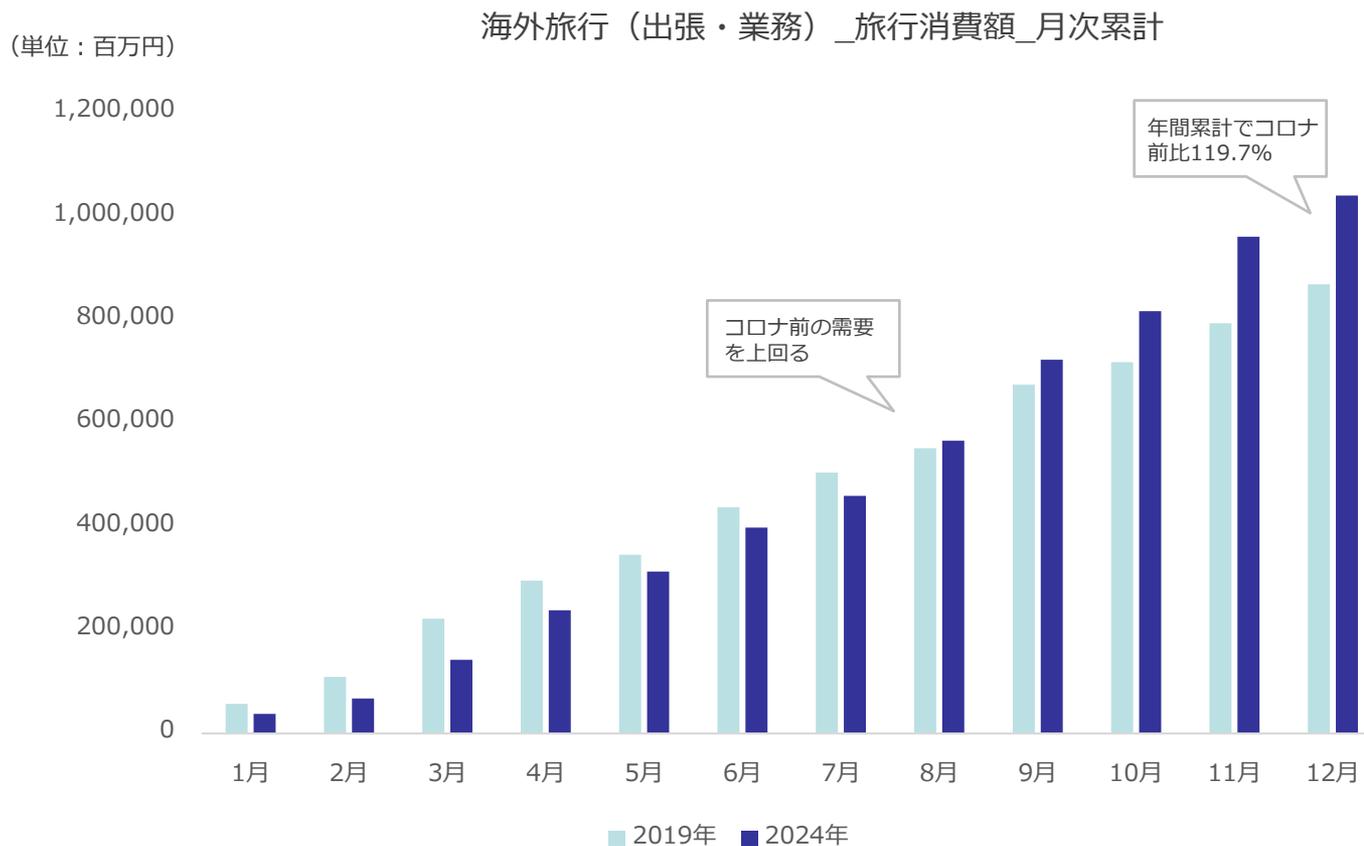
成田⇄ホノルル 3泊5日

ホテル：ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ワイキキ・ビーチ・リゾート

もっと見る

## 【業務渡航】

- ・グループ会社ホテルスキップにおける業務渡航事業は市場の顕著な回復に比例して順調に伸びており、業務渡航システムの旅行会社への導入をさらに加速

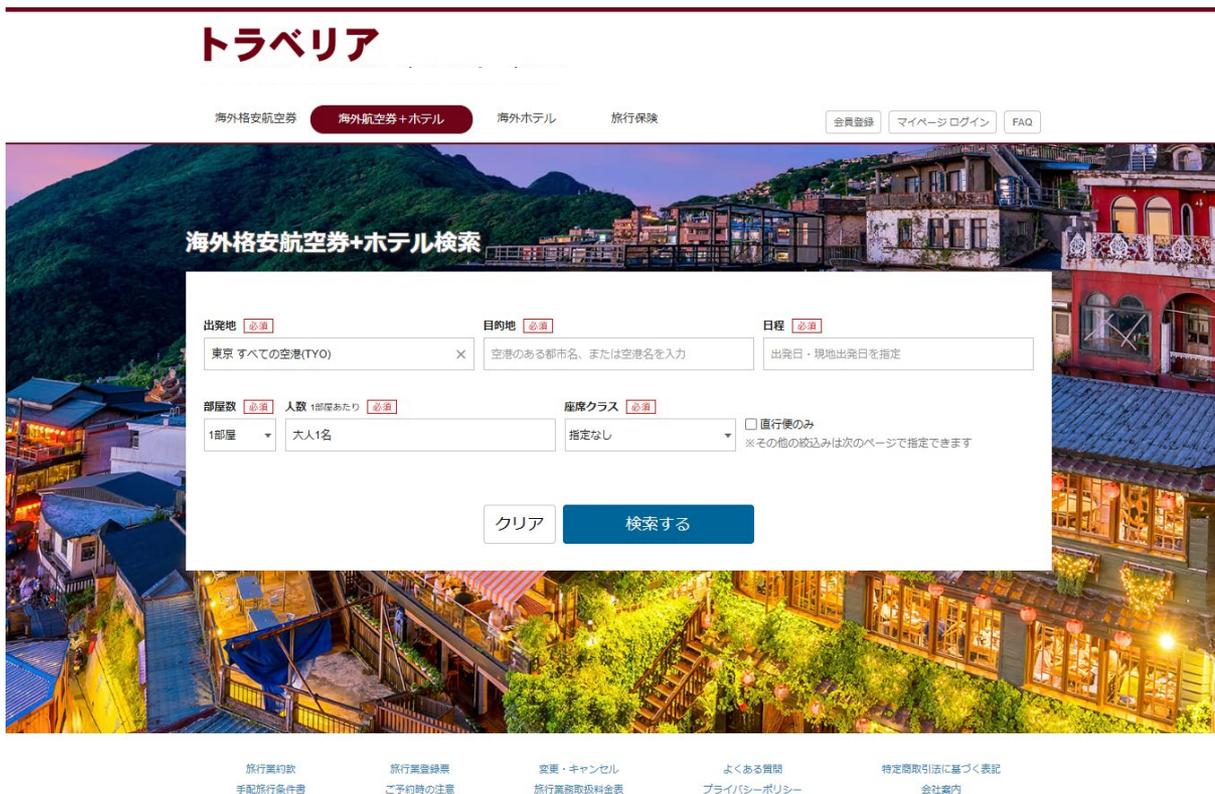


出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに当社作成

## 【旅行会社向けオンライン予約システム】

- ・既にリリース済の旅行会社向けフライト・ホテルオンライン予約システムの開発拡充と導入拡大（複数社導入済）

(導入イメージ)



## 【伝統的工芸品の越境を含めたECマーケットプレイスの構築】

GALLERY JAPAN :

人間国宝を含む約2,000名の現役作家による工芸美術作品を販売する日本及び世界最大級のオンラインギャラリー

KOGEI JAPAN :

日常使いができる工芸品情報（全243品目）を網羅的に発信する日本最大級の伝統的工芸品情報サイト

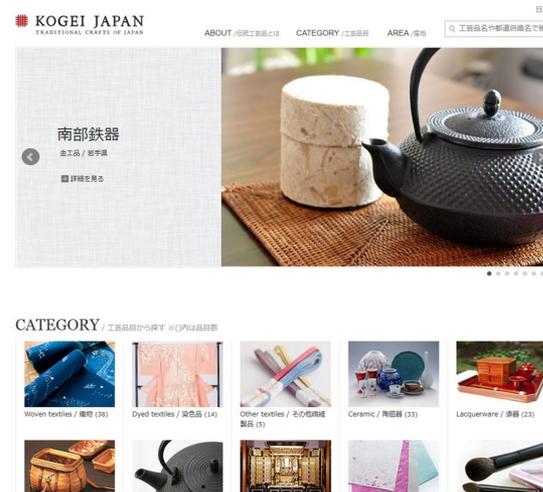
※現在、販売は行っていない

日本伝統工芸の海外市場における関心は高まっており、工芸美術作品を扱うGALLERY JAPANでは海外需要の伸びが顕著で既に海外への販売が国内を上回っている。このような状況を鑑み、KOGEI JAPANにおいて、より市場規模の大きい日常工芸品市場をターゲットとして、越境を含めたECマーケットプレイス事業を開始（年度内予定）

### GALLERY JAPAN



### KOGEI JAPAN



## 【その他】



## トラベルコ

- ・ 市場ニーズに対応したプロモーション
- ・ 既存メニューのリニューアル及び機能強化
- ・ 新規連携強化による商品情報の拡充
- ・ 国内及び海外の人気スポットなどの観光情報拡大
- ・ 各メニューのクチコミ・評価サービス拡充
- ・ サイトデザインリニューアル

## TRAVELKO

- ・ 現地大手サイトとの連携強化による価格優位性の確立
- ・ ユーザーインターフェースローカライゼーション強化
- ・ アプリ版TRAVELKOの機能拡充
- ・ 観光情報の拡充
- ・ SEO強化、プロモーションの実施

1. ハイライト
2. レジャー旅行市場の業界動向
3. 2025年3月期 業績概要
4. 2025年3月期の取り組み
5. 2026年3月期 業績予想・今後の成長施策等
6. 参考資料

# 2025年3月期 貸借対照表

- 自己資本比率90.1%で高い水準を維持
- 現預金残高は2,212百万円

単位：百万円	2024/3末 実績	2025/3末 実績	増減額
流動資産	3,210	2,760	-449
現金及び預金	2,626	2,212	-413
その他	583	547	-35
固定資産	2,453	2,041	-411
資産合計	5,663	4,802	-861
流動負債	338	414	+76
固定負債	213	42	-170
負債合計	551	457	-94
純資産合計	5,111	4,344	-767
資本金	648	648	-
資本剰余金	473	473	-
利益剰余金	3,606	3,485	-120
その他	383	-262	-646
負債純資産合計	5,663	4,802	-861

# 2025年3月期 売上原価・販売費及び一般管理費の主な内訳

- ターゲット市場拡大を見据えた開発投資は継続しつつも、市場状況を見ながらプロモーションコストを適切にコントロール

単位：百万円	2024/3		2025/3			
	実績	売上比	実績	増減額	前期比	売上比
売上原価	886	34.6%	969	+82	+9.4%	40.3%
労務費	473	18.5%	479	+6	+1.4%	20.0%
その他	412	16.1%	489	+76	+18.5%	20.3%
販売費及び一般管理費	1,856	72.5%	1,538	-318	-17.1%	64.0%
人件費	807	31.5%	797	-9	-1.2%	33.2%
広告宣伝費	667	26.1%	351	-316	-47.4%	14.6%
その他	381	14.9%	389	+7	+2.1%	16.2%

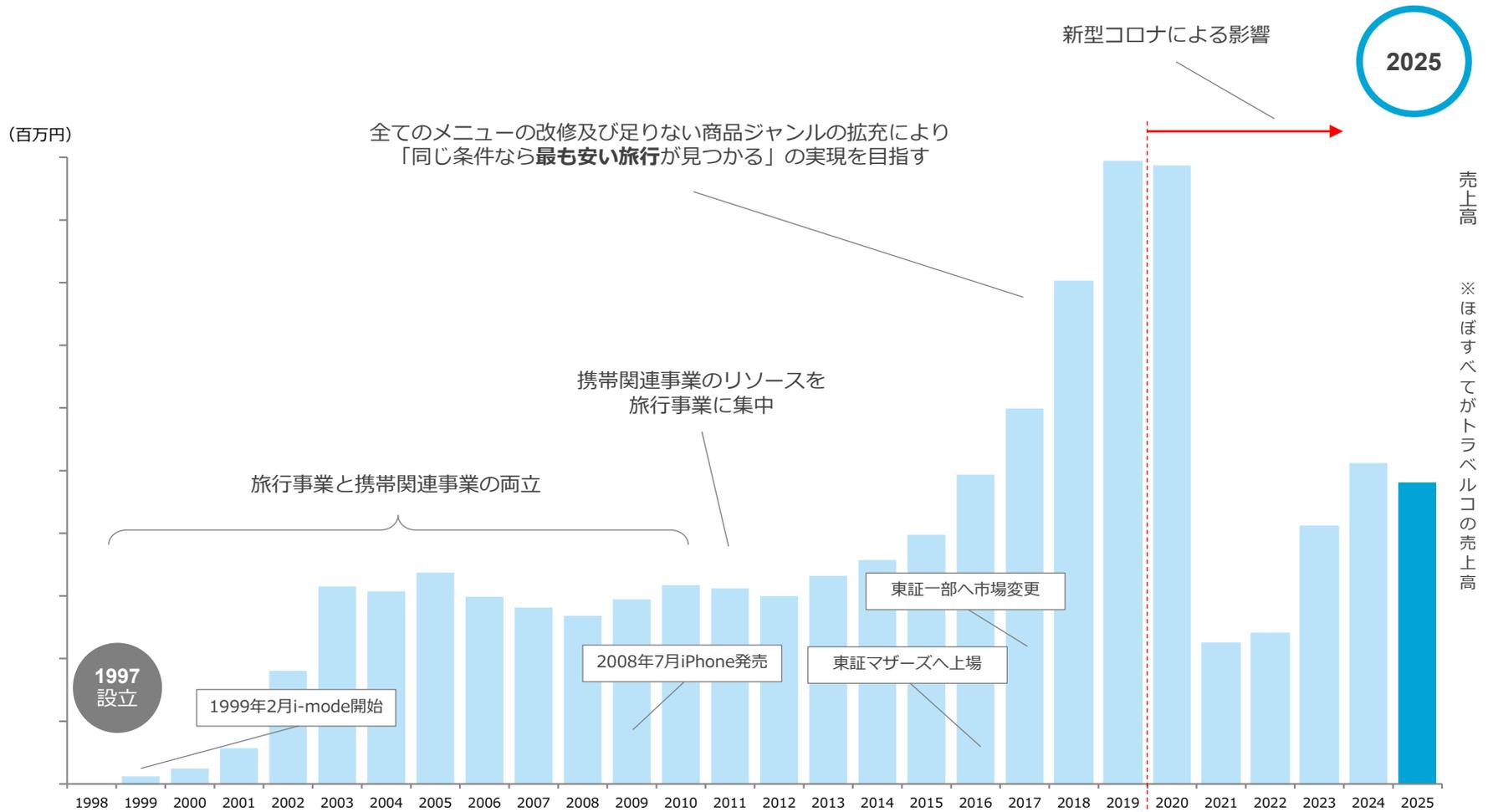
# 2025年3月期 キャッシュ・フロー計算書

- 現金及び現金同等物は418百万円減少し、2,207百万円に

単位：百万円	2024/3 実績	2025/3 実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	-312	-4	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	-48	-413	投資有価証券の取得による支出 △ 379百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	-0	-0	—
現金及び現金同等物の増減額	-361	-418	—
現金及び現金同等物の期首残高	2,987	2,626	—
現金及び現金同等物の期末残高	2,626	2,207	—

会社名	株式会社オーブンドア
設立	1997年4月
代表者	代表取締役社長 関根 大介
資本金	648百万円
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：3926）
事業内容	旅行比較サイト「トラベルコ」 多言語旅行比較サイト「Travelko」 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」 「KOGEI JAPAN」 の運営
連結子会社	ホテルスキップ株式会社 出資比率100% ホテル・航空券の予約、手配、販売
従業員数	連結192名

# これまでの歩みと売上高の推移



# 当社サービス / 旅行比較サイト「トラベルコ」

- ・ 1,500以上の旅行サイトの商品と比較・検索できる日本最大級の旅行比較サイト
- ・ 2025年オリコン顧客満足度®調査「航空券・ホテル比較サイト」で2年連続で1位を獲得

理想の旅をいもばん安く。  
**トラベルコ**  
TRAVELCO

初めての方へ | よくある質問 | メルマガ  
運営会社: 株式会社オープンドア(東証プライム)

お問合せ 不具合・要望 | 履歴 お気に入り (2)

国内 海外

JTB、HIS、楽天トラベル、エアトリ、Agoda、Expedia、Booking.comなど、国内外1,500以上の旅行サイトを比較！

PRESS 2025.3 オリコン顧客満足度®調査「航空券・ホテル比較サイト」で2年連続1位を獲得

国内旅行		海外旅行	
国内ホテル・宿	国内格安航空券	海外ホテル	海外格安航空券
国内ツアー	国内航空券+ホテル	海外ツアー	海外航空券+ホテル
新幹線・JR特急+ホテル	遊び・体験	オプションツアー	海外Wi-Fiレンタル
高速バス・夜行バス	国内レンタカー	海外旅行保険	ファイナルコール(直前割)
日帰りバスツアー	ファイナルコール(直前割)		

世界各国の観光地情報 | 日本国内の人気観光スポット情報 | トラベルコの旅行比較をアプリでも

9:41 | tour.ne.jp

トラベルコ | 問合せ 不具合 | Q&A | 履歴

JTB、HIS、楽天トラベル、エアトリ、Agoda、Expedia、Booking.comなど、国内外1,500以上の旅行サイトを比較！

PRESS 2025.3 オリコン顧客満足度®調査「航空券・ホテル比較サイト」で2年連続1位を獲得

国内旅行		海外旅行	
ホテル・宿	格安航空券	ホテル	格安航空券
ツアー	航空券+ホテル	ツアー	航空券+ホテル
新幹線・特急+ホテル	遊び・体験	オプションツアー	海外Wi-Fiレンタル
高速バス・夜行バス	レンタカー	海外旅行保険	ファイナルコール(直前割)
日帰りバスツアー	ファイナルコール(直前割)		

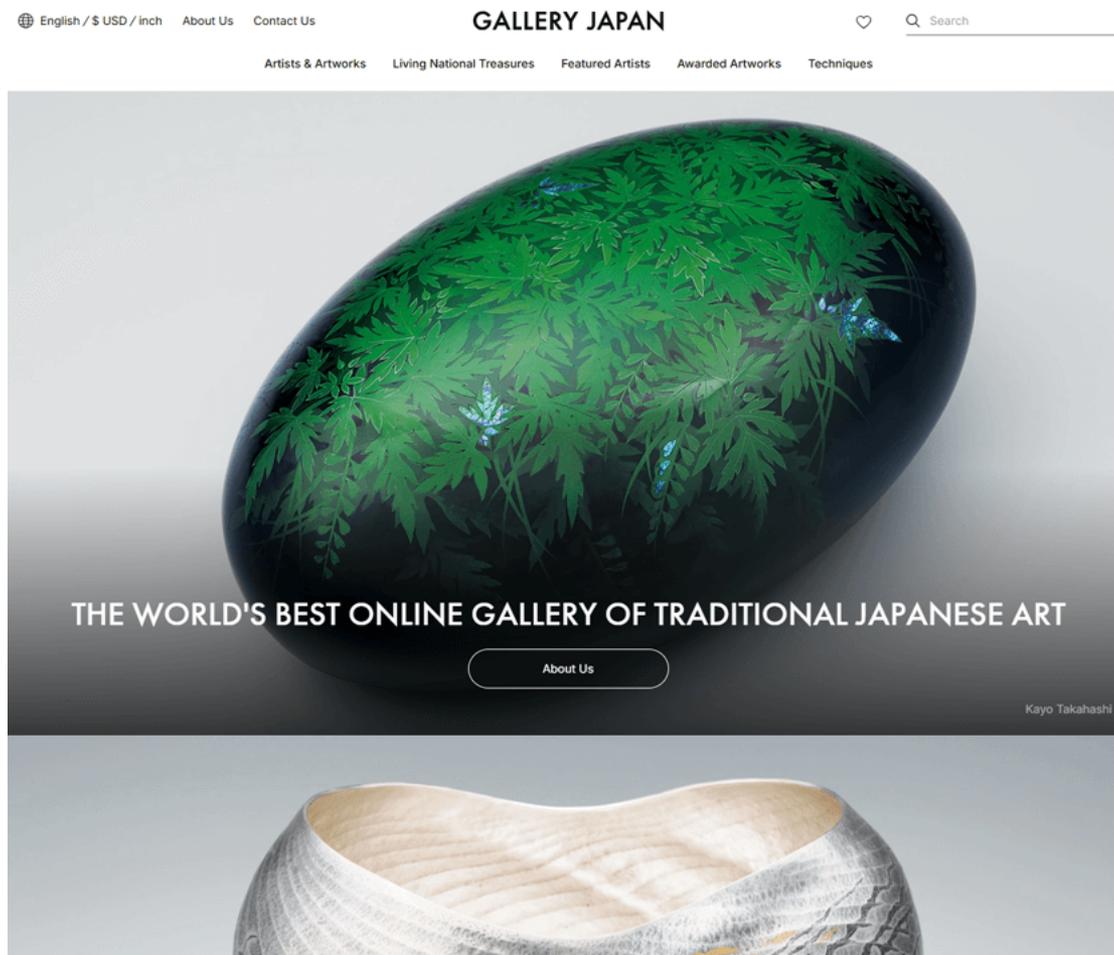
海外まとめ記事

旅行関連記事を見る

2025年最新 お花見特集  
2025/04/28更新



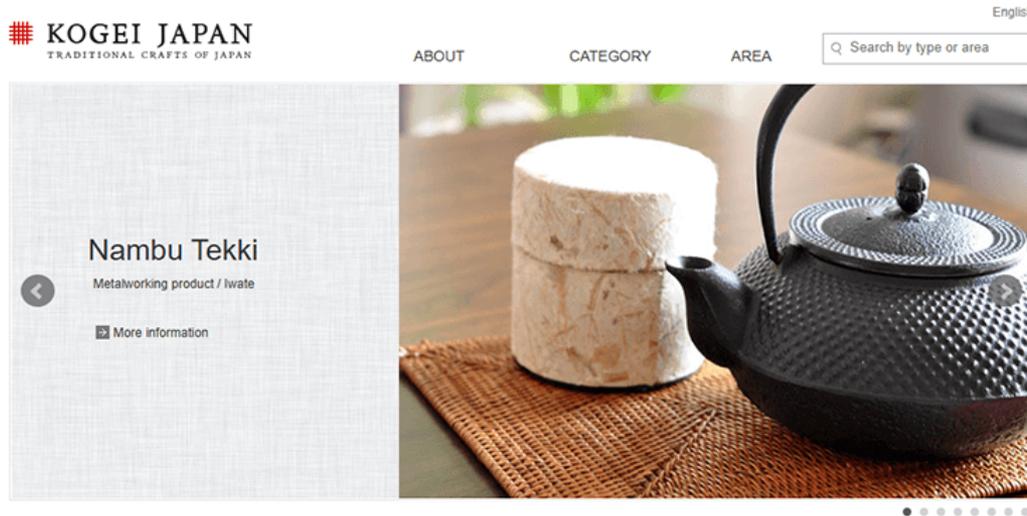
- ・ 人間国宝を含む約2,000名の現役作家による工芸美術作品を販売する日本及び世界最大級のオンラインギャラリー



対応言語

英語  
日本語

- ・ 日常使いができる工芸品情報（全243品目）を網羅的に発信する日本最大級の伝統的工芸品情報サイト
- ・ 今後、越境を含めたECマーケットプレイス事業を開始予定



## CATEGORY



Woven textiles (38)



Dyed textiles (14)



Other textiles (5)



Ceramic (33)



Lacquerware (23)



Wood, bamboo crafts (32)



Metal works (16)



Household Buddhist altars (17)



Traditional Japanese paper (9)

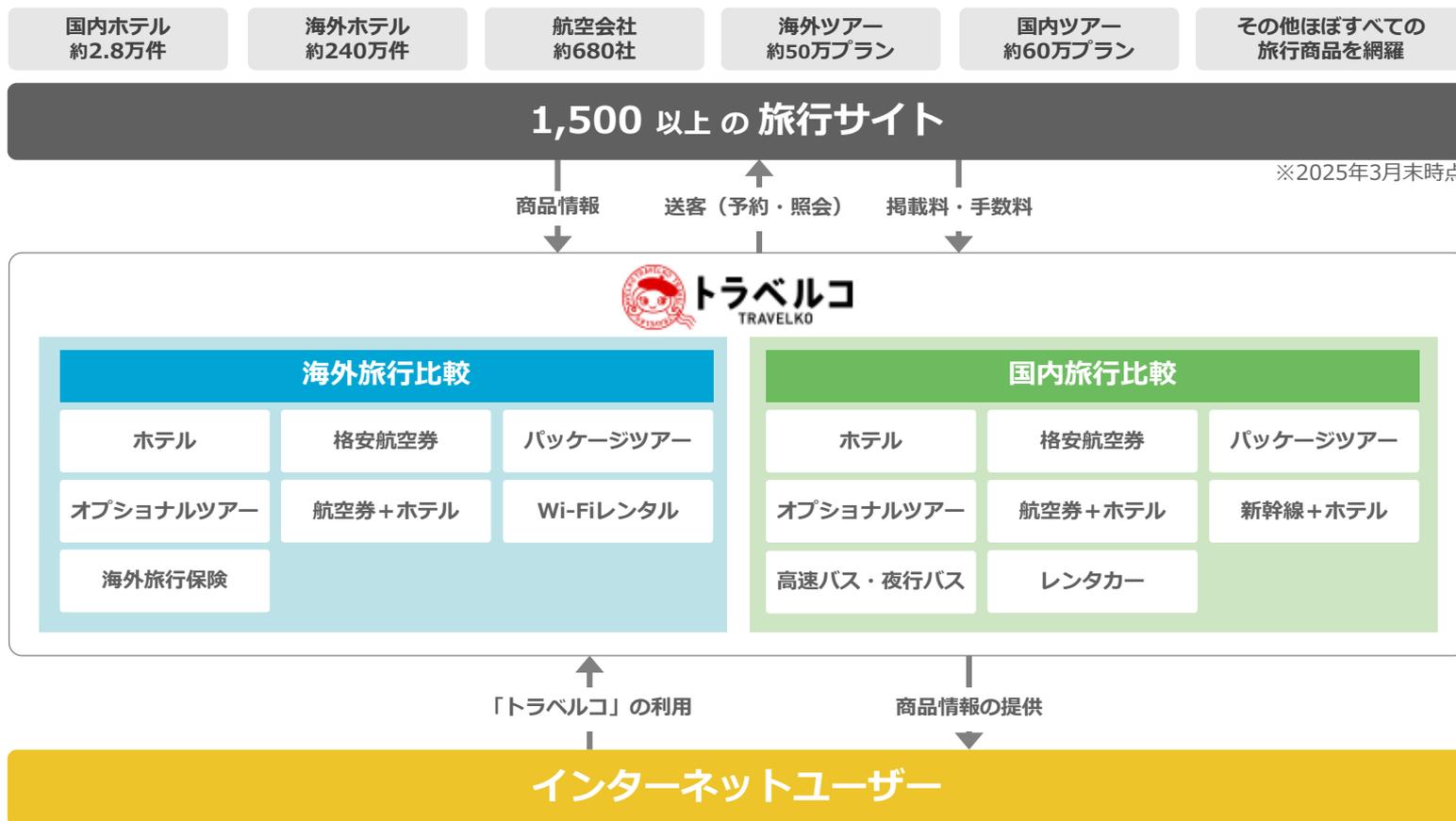


Writing tools (10)

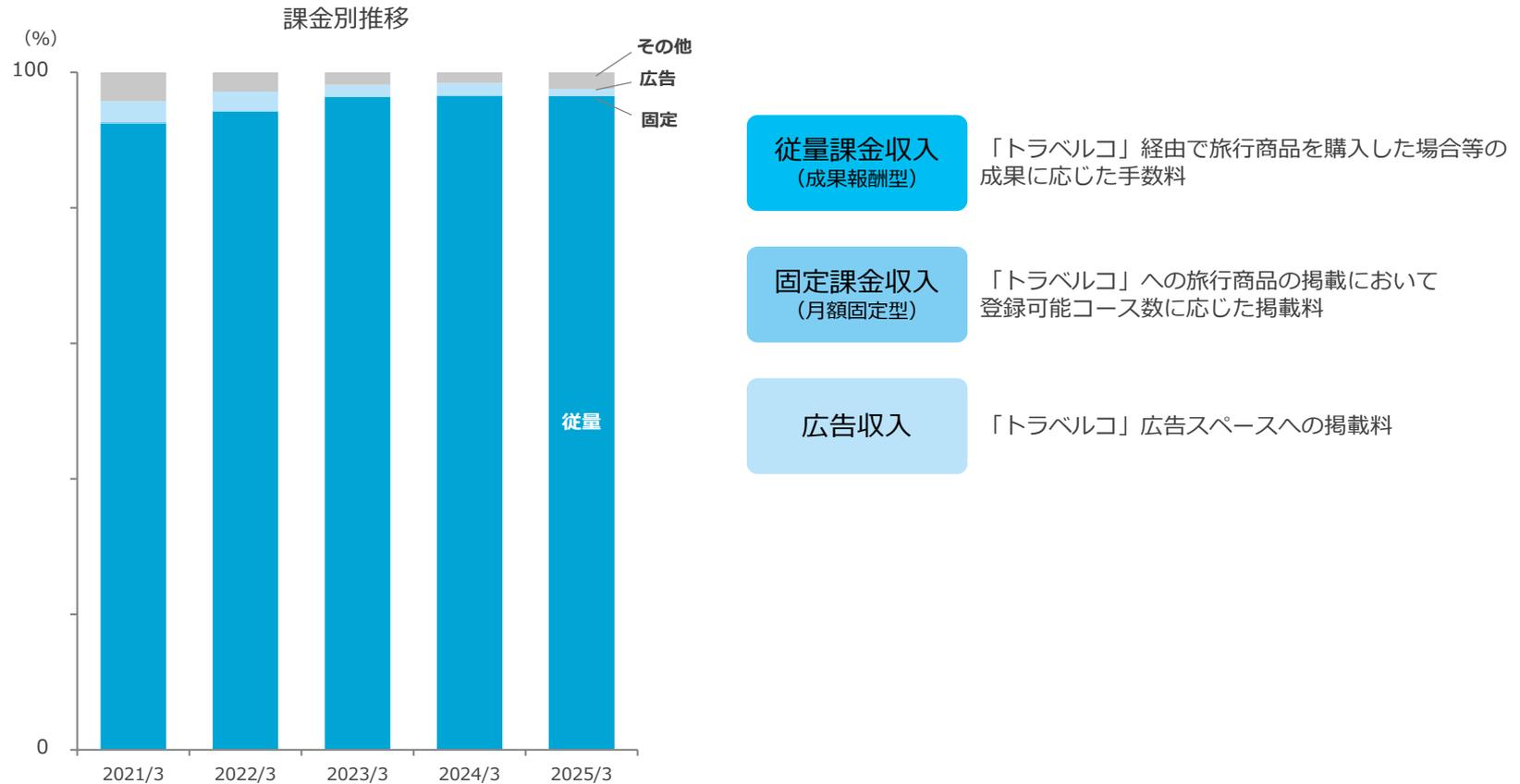
対応言語

英語  
日本語

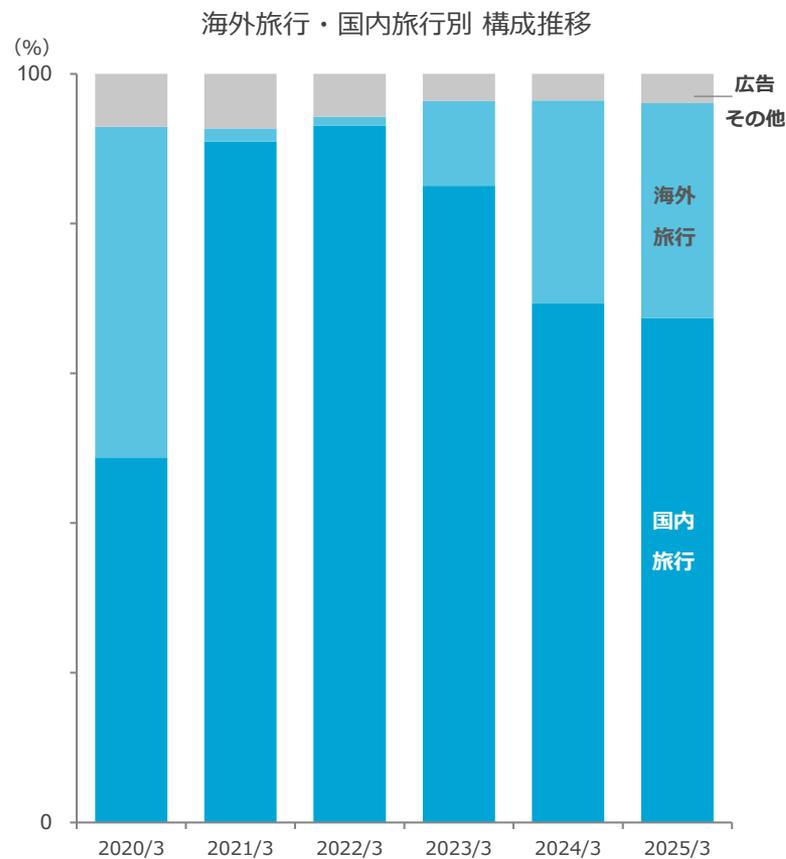
ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル



収益モデルは成果報酬型の従量課金収入がメイン



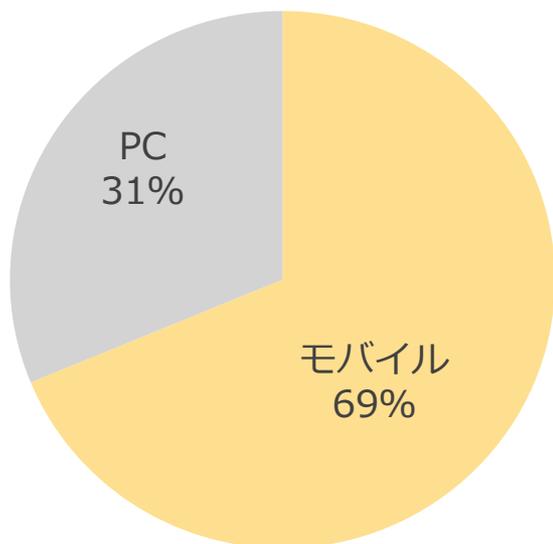
新型コロナの影響により国内旅行がほとんどを占めていたが、海外旅行が徐々に回復



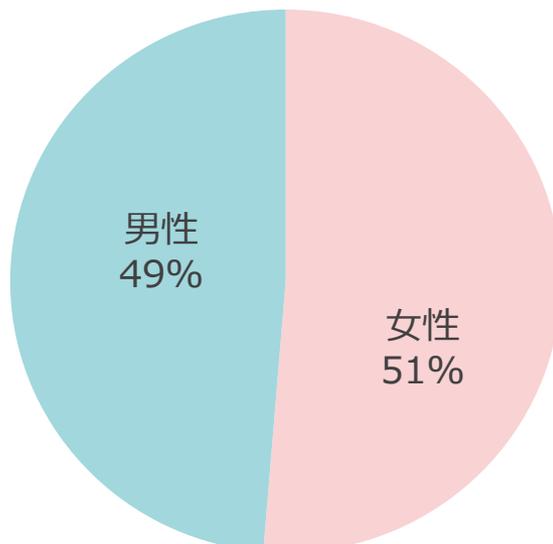
新型コロナの期間を経て、男性ユーザーが増加、加えて45歳以上及び18歳から24歳の年齢層を中心に増加

## ユーザー属性※1

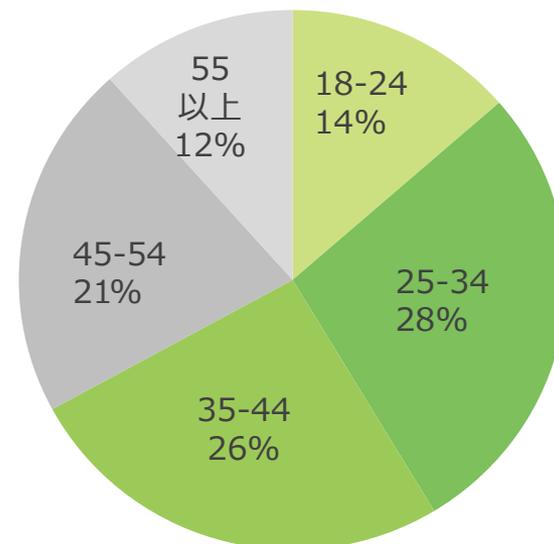
閲覧環境



性別



年齢別



※1 2024/4-2025/3までの当社アクセス解析データ

多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか？

## 1. ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。ホテル、航空券、パッケージツアー、ダイナミックパッケージ、オプションツアー、レンタカー、高速バス、海外Wi-Fiレンタル、海外旅行保険など。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。

海外旅行比較		
ホテル	格安航空券	パッケージツアー
オプションツアー	航空券+ホテル	Wi-Fiレンタル
海外旅行保険		

国内旅行比較		
ホテル	格安航空券	パッケージツアー
オプションツアー	航空券+ホテル	新幹線+ホテル
高速バス・夜行バス	レンタカー	

## 2. 最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が1,500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。

それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合があります。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB クラブツーリズム JALパック 小田急電鉄  
JR東海ツアーズ 近畿日本ツーリスト 日本旅行  
HIS 東武トップツアーズ 阪急交通社 ANA X  
読売旅行 名鉄観光サービス ベルトラ

楽天トラベル るるぶトラベル Yahooトラベル

Expedia Booking.com Agoda Trip.com

エアトリ Spring Japan スカイチケット  
スターフライヤー

…1,500以上の旅行サイト

## なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか？

### ほぼ全てのシステム開発を内製化

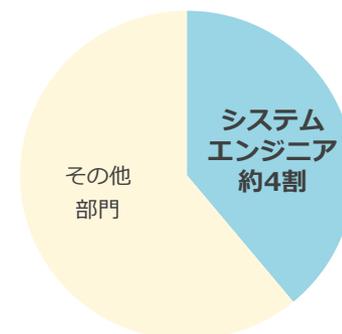
これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、1,500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、約80名のシステムエンジニアが日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いています。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全ての進化を支える開発体制が実現できています。

この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。

全従業員に占める  
システムエンジニアの割合



SDGs（持続的な開発目標）に向けた当社の取り組みは下記の通りです。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



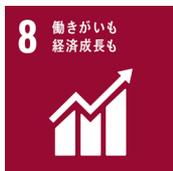
### 女性活躍推進

- ・女性管理職比率目標15%以上
- ・くるみんマーク取得
- ・時差出勤等の各種制度の導入



### オフィスでの環境配慮

- ・CO2排出量の削減
- ・電力資源の削減
- ・紙資源の削減



### 働きがいのある職場の実現

- ・多様性の確保
- ・社員の健康支援



### コーポレート・ガバナンス



### イノベーションの推進



### 企業や地方自治体などとの パートナーシップ推進



### 地域と伝統文化への貢献

- ・旅行を通じた地域社会の活性化
- ・伝統文化への取り組み

ESGに関する当社の取り組みは下記の通りです。



## **E**nvironment (環境)

- ・環境に配慮した旅行商品の提案（低CO2排出量のフライト）
- ・CO2排出量の削減（再生可能エネルギー電力の導入）
- ・電力資源の削減（LEDライトの利用）
- ・紙資源の削減（FSC認証用紙の利用）
- ・プラスチック資源の削減（社員によるマグカップの利用）

## **S**ocial (社会)

- ・多様な人材の活躍
- ・女性活躍推進
- ・従業員の健康支援
- ・内部通報窓口の設置
- ・児童労働、強制労働の廃除

## **G**overnance (ガバナンス)

- ・透明性のある経営の実現
- ・コンプライアンスの強化
- ・取締役会の機能強化
- ・ステークホルダーとの対話

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

## 株式会社オーブドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、  
下記までお願いいたします。

株式会社オーブドア 管理本部

TEL : 03-5545-7215      FAX : 03-3586-8708

ホームページ : <https://www.opendoor.co.jp>